

**POLAR®**

# SPEED SENSOR



ユーザーマニュアル

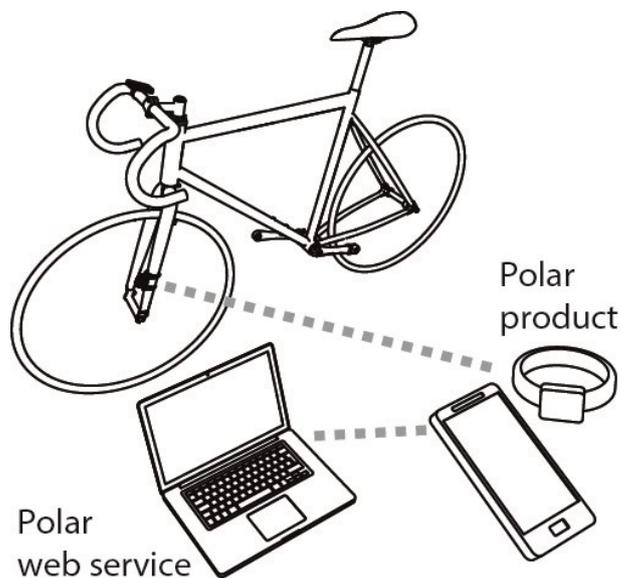
# 目次

目次	2
はじめに	3
開始方法	4
スピードセンサーの部品	4
スピードセンサーの取り付け	4
ペアリング	5
重要情報	6
ケアとメンテナンス	6
電池	6
よくある質問	6
技術仕様	7

# はじめに

Polarスピードセンサーはサイクリング時のスピードと距離を測定します。このセンサーは、Bluetooth®サイクリングスピード・ケイデンス機能対応のBluetooth® 機器との互換性があります。

数多くのフィットネスアプリや、Bluetooth®を使用したPolar製品と合わせてセンサーを使用できます。対応する製品は、[support.polar.com/ja](https://support.polar.com/ja)でご確認いただけます。



本ユーザーマニュアルの最新版は、[support.polar.com/ja](https://support.polar.com/ja)でダウンロード頂けます。

# 開始方法

## スピードセンサーの部品

1. スピードセンサー( 図1 Aおよび2 A)
2. スポークマグネット( 図2 B)

図 1

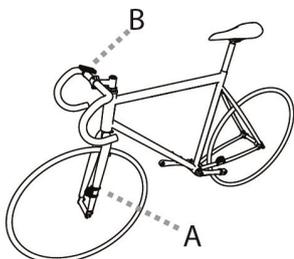
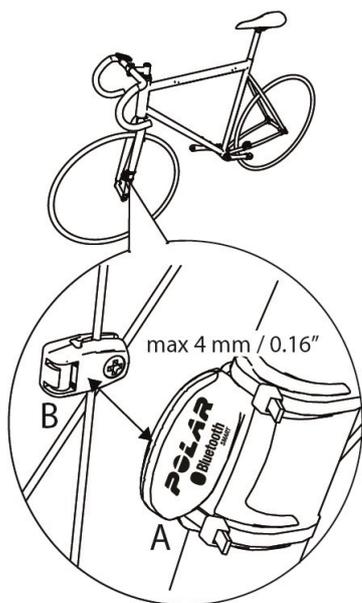


図 2

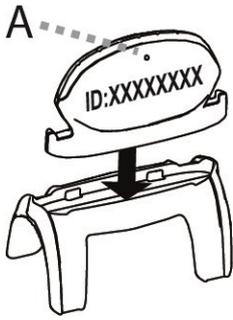


## スピードセンサーの取り付け

スピードセンサーとスポークマグネットの取り付けには、カッターとプラスドライバーが必要です。

1. スピードセンサーは自転車のフロントフォークに取り付けることをお勧めします。( 図1 A参照)
2. ラバーパーツをスピードセンサーに取り付けます( 図3参照)。

図3



3. スピードセンサーとラバーパーツの上にケーブルを通します(図2 A)。POLARロゴが外側になるようフロントフォークにセンサーを設置します。ケーブルをゆるめに取り付けます。この時点では完全に締めないでください。
4. スピードセンサーの高さに合わせた位置で、スポークにマグネットを取り付けます(図2)。センサーの裏側に小さな点(図3 A)が、マグネットがセンサーを通過する位置の印です。スポークにマグネットを取り付け、ドライバーで軽く締めます。この時点では完全に締めないでください。
5. マグネットとセンサーが近くにありながらも接触しないよう、マグネットとスピードセンサーの位置の微調整を行います(図2)。センサーをできるだけホイールとスポークに近づけます。センサーとマグネットの距離は4 mm/0.16 in未満でなければなりません。マグネットとセンサーの間の距離がケーブルの太さと同じであれば、最適な距離です。
6. 前輪を回転させ、スピードセンサーをテストします。センサーが赤く点滅すれば、マグネットとセンサーは正しい位置に取り付けられています。タイヤを回転させ続けると、ライトの点滅が消えます。ドライバーでねじを締め、マグネットを固定します。最後に、ケーブルでしっかりと固定し、ケーブルの余分な部分を切ります。



サイクリングを始める前に、レシーバーまたはモバイルアプリにホイールのサイズを入力します。

## ペアリング

新しいセンサーは、データを受信するために、レシーバーとペアリングする必要があります。詳細については、レシーバーまたはモバイルアプリのユーザーガイドをご確認ください。



センサーの信号を受信しやすくするため、ハンドルバーのバイクマウントにレシーバーを固定することをお勧めします。

# 重要情報

## ケアとメンテナンス

センサーを清潔な状態に保ってください。低刺激石鹸と水で洗浄し、きれいに洗い流してください。柔らかいタオルで十分に乾かしてください。アルコールや研磨剤(スチールウールや洗浄用化学薬品など)は絶対に使用しないでください。センサーを水中に沈めないでください。

お客様の安全は弊社にとって大切です。ハンドルバーが正常に動き、またブレーキやギアのケーブルワイヤーがバイクマウントまたはセンサーに引っかからないことを確認してください。またセンサーが、ペダリングやブレーキ、ギアの使用を妨げないことを確認してください。自転車の運転中は、事故や怪我を避けるために道路に細心の注意を払ってください。強い衝撃を与えないでください。センサーが破損する恐れがあります。

交換用のマグネットセットは、別途購入できます。

## 電池

電池は交換できません。センサーは、機械の寿命と信頼性を最大化するために、密封されています。新しいセンサーをご購入される場合は、お近くの認定Polarサービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。センサーはオンラインでも購入できます。Www.polar.comで、お住まいの国のshoppolarオンラインストアをご確認ください。

Bluetooth®の電池残量表示機能に対応したレシーバーをご使用であれば、センサーの電池残量がレシーバー上で表示されません。

サイクリングを中断しマグネットがセンサーを30分以上通過しないと、電池の寿命を最大限に活かすためにセンサーがスタンバイモードになります。

## よくある質問

次のような場合はどうしたらよいですか？

サイクリング中に、速度の読み取り値が0である、または速度が読み取れません。

- マグネットに対しセンサーの位置と距離が適切であるか確認します。
- レシーバーのスピード機能が、有効になっているのを確認します。詳細については、レシーバーまたはモバイルアプリのユーザーガイドをご確認ください。
- ハンドルバーのバイクマウントにレシーバーを固定します。これにより接続が改善されます。
- 0の読み取り値が不規則に表示される場合、現在の環境に一時的な電磁波による障害がある可能性があります。
- 0の読み取り値が常に表示される場合、電池が空である可能性があります。

速度、距離または心拍数の読み取り値が不安定です。

- 電子レンジおよびコンピュータの近くでは干渉が起こることがあります。WLANのベースステーションも、Polarスピードセンサーを使用したトレーニング時の干渉の原因になる場合があります。異常な読み取り値または誤作動を避けるために、誤動作の原因になる可能性のあるものからできるだけ離れてください。

取り付け前にセンサーとレシーバーをペアリングするには？

- レシーバーまたはモバイルアプリのユーザーガイドの手順に従ってください。クランク・ホイールを回転させる代わりに、マグネットのそばでセンサーを前後に移動させて有効にします。センサーの赤いライトが点滅すれば、起動しています。

以下を行うには？

センサーが信号をレシーバーに送信しているか確認するには？

- サイクリング開始時にセンサーが起動しており、スピードデータを送信している場合、赤いライトが点滅します。そのままサイクリングを続けると、ライトの点滅は消えます。

# 技術仕様

## 使用環境の温度:

-10°C ~ +50°C / +14°F ~ +122°F

## 電池寿命:

平均使用時間 1400時間

## 精度:

±1 %

## 素材:

サーモプラスチックポリマー

## 耐水性:

防沫仕様

FCC ID:INWY6

スピードセンサー Bluetooth QD ID:B021136

Copyright © 2021 Polar Electro Oy, FI-90440 KEMPELE. All rights reserved. Polar Electro Oyの許可なく本マニュアルの複写、転写することは禁じられています。本マニュアルあるいは本製品のパッケージに記載されている™マーク付のロゴは、Polar Electro Oyの商標を意味します。本マニュアルあるいは本製品のパッケージに記載されている®マーク付きの名称およびロゴは、本製品がPolar Electro Oyの登録商標であることを意味します。Bluetooth®の名称およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標です。Polar Electro Oyはライセンス契約に基づき使用しています。

2.0 JA 3/2023